

# 安全な雪下ろし作業10のポイント

～屋根の雪下ろしは安全第一で～



## 1 安全な服装で！

- ヘルメットを正しく着用し、着膨れしないで、動きやすい服装にしましょう。
- 足裏の感触が大事ですので、厚底の長靴は避けましょう。
- 滑りにくい防寒性のゴム手袋の着用がお勧めです。



やまがたゆきみらい推進機構  
山形県村山総合支庁北村山地域振興局

## 2 日ごろの準備！

- 建物がどの程度雪に耐えられるか把握しておきましょう。
- 命綱や除雪道具はこまめに手入れをしましょう。

## 3 屋根の雪の緩みに注意！

- 暖かい日の午後は屋根の雪が緩み易いので、特に注意が必要です。
- 雪解け水や雪が動く音に注意しましょう。
- 地上での作業では、屋根からの落雪に注意しましょう。



## 4 命綱を使いましょう！

- トラロープは滑り易いので、命綱にはザイルや麻ロープなどを使いましょう。
- 命綱を固定するには、専用のアンカーを使う、反対側の家の柱に結ぶなど、状況に応じて工夫しましょう。
- 命綱を体に固定するには、安全带などの幅広いものを使って、正しく結びましょう。
- 命綱は屋根の上で止まる長さに調整しましょう。正しく使用しないと逆に危険です。



## 5 はしごはしっかり固定！

- 転落防止のため、はしごの足元をしっかりと固め、上部をロープで固定しましょう。
- はしごは、軒先より60cm以上高くし、屋根に対して真っ直ぐに決められた角度で設置し、ロープで固定しましょう。  
はしごの昇り降りは特に注意が必要です。
- 斜め屋根への立て掛けは、はしごが滑り落ちて大変に危険です。

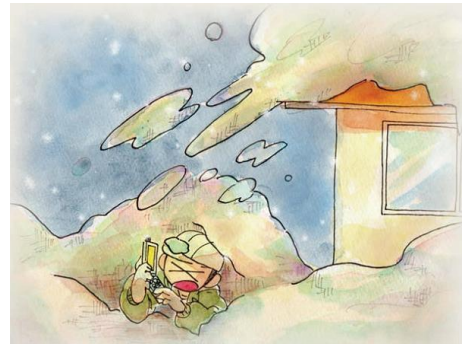


## 6 使いやすい道具を！

- 軽くて雪が付きにくいアルミ製スコップやスノーダンプを使いましょう。
- 雪が付きにくくなるスプレーもお勧めです。

## 7 2人以上で作業を！

- 事故に備えて2人以上で作業し、携帯電話などを持ちましょう。
- やむを得ず1人で作業する場合には、家族と隣近所に声を掛けましょう。



## 8 無理はしない！

- 雪下ろしは重労働ですので、体調の悪い時の無理はやめましょう。
- 屋根に上る前に、必ず準備運動を忘れずに行いましょう。
- 十分に休憩を取りながら、何回かに分けて雪下ろしを行いましょう。
- 万が一滑った場合などには、スコップやスノーダンブを離して身を守りましょう。



## 9 足場の確認！

- 屋根に上る前に、巻き垂れや雪庇から取り除きましょう。
- 落雪に巻き込まれないように、頂部（棟）から雪下ろしを行いましょう。
- 足場は慎重に作りましょう。
- 軒先は危険ですので、雪止めより下には足場を作らないようにしましょう。
- 屋根の上に20cm程度の雪を残した方が滑りにくくなります。
- 軒先の雪は最後に落としましょう。
- 軒下の人や電線などにも注意しましょう。
- 窓からのつらら落しは、十分に長い棒でこまめに行いましょう。



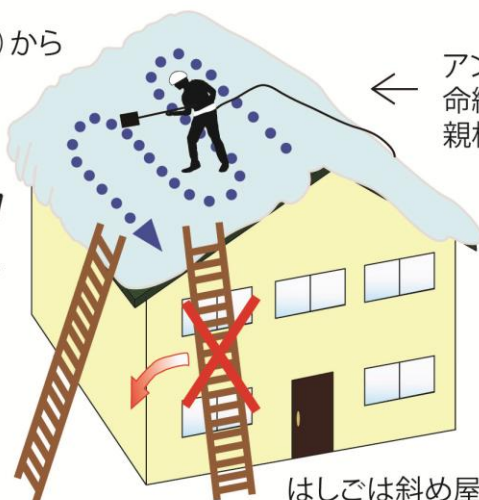
## 10 まわりに雪を残して！

- 転落したときのクッションのために、まわりに雪を残しておきましょう。

## 雪下ろし作業の順序とはしごの設置場所

②次に、屋根頂部(棟)から  
雪下ろしをする

①はじめに、巻き垂れ・  
雪庇を落す



アンカーがない場合は  
命綱を屋根と反対側にある  
親柱などに固定する

はしごは斜め屋根に掛けると危険

## ★ 除雪機の事故に注意しましょう ★

近年は除雪機の事故が多く発生しています。除雪機を取り扱うときは、次のことに注意しましょう。



- 除雪機は普段からこまめに手入れをしましょう。
- 使用前には、安全装置が働くことを確認しましょう。



- 雪詰まりのときは、エンジンを切って、ローターの回転が止まったことを確認してから行いましょう。

## 問い合わせ先

山形県村山総合支庁北村山総務課連携支援室（やまがたゆきみらい推進機構事務局）  
〒995-0024 山形県村山市榑岡笛田四丁目5-1【TEL】0237-47-8614【FAX】0237-55-5236